

【主の祈り】(カトリック/聖公会共通訳)
天におられるわたしたちの父よ、御名が聖とされますように。御国が来ますように。御心が天に行なわれる通り、地にも行われますように。わたしたちの日の糧を今日もお与えください。わたしたちの罪をお赦しください。わたしたちも人を赦します。わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。国と力と栄光は、永遠にあなたのもです。アーメン

【使徒信条】(日本基督教団 口語訳)
わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。わたしはそのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちからよみがえり、天にのぼられました。そして、全能の父である神の右に座しておられます。そこから

こられて、生きている者と死んでいる者をさばかれます。わたしは聖霊を信じます。きよい公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、永遠の命を信じます。アーメン

【礼拝賛美】

■You are All in All
①弱いときの力 探しもとめる宝
You're My All in All
あなたにすべて献げあなたを求め続け
You're My All in All

※Jesus Lamb of God あなたののみ名を声のかぎり ほめたたえます

②罪とけがれのぞき 甦ったあなたは
You're My All in All
倒れるときに支え 渴ぐときに満たす
You're My All in All

■主はぶどうの木(※↓★※の順で歌う)

※主はぶどうの木 わたしは枝です

いつも離れずに

主はぶどうの木 わたしは枝です

豊かな実を結ぶ

★みことばにとどまり 愛に生きるなら

この世は知るでしょう

主の救いと いやし

「こつこつというわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競争を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでください。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをもとめせずに十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。(ハブル人への手紙12章1、2節)

早いもので、新年もすでに半月が過ぎました。クリスマスはもちろん、正月もすいぶん前のような気がします。再び動き出した日常生活を主と共に進んで参りたいと思えます。

さて、正月といえは箱根駅伝という方も少なくないでしょう。今年もミッシヨン系の大学が優勝してクリスマスチャンとしてはうれしかぎりです。順位争いも見えたえががありました。シード権を争う10位の攻防はドキドキハラハラしました。下位では制限時間内でタスキを繋ぐことが出来ず、無念の繰り上げスタートがありました。

ただ走る、といえはそれまでですが、その姿に感動するのは、学生たちの一生懸命な姿によるのでしょうか。

キリスト者も信仰という道のりを走り抜

くことが期待されています(1)。箱根駅伝に山坂の上り下りがあり、強い陽射しを受け、吹き付ける海風にさらされるなどして体力の戦いがあるように、私たちの信仰の道・人生という道にも行く手を阻み、心をくじこうとする様々な困難・ハプニングがあります。

困難に負けずに走り抜くためにはいくつかが必要です。一つは、重荷やまとわ

りつく罪を捨てることです(1)。罪とは神に反する思いです。罪を捨てるとは、神に信頼することです。私たちは自分の力で罪を克服することはできません。揺れる心を認め、自分の弱さを認めて、神の憐れみを求めるとき、神の命が注がれ、神の助けも現れます。

心が揺れることが悪ではありません。世にある限りは苦しむことから逃れることもできません。主に頼りそこをくぐり抜けることで人は鍛えられて成長します(11)。主が私たちのために十字架という苦難を忍び、栄光を受けられたことを見つめて励みましょう。

私たちは一人ではありません。天の聖徒たちが、そして今、共にこの道を守る兄弟姉妹がいます(1)。礼拝で告白する使徒信条の「一節」聖なる公同の教会、聖徒の交わりです。主イエスに視線を集中し、支えてくれる人に感謝してこの道を選び続けましょう。(泰)

1月19日 プレイズサンデー
 第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄
 第2礼拝 11時 荻野牧師 高橋美姉
 前奏
 招詞 ハバクク書2章20節
 会衆賛美 聖歌35 ふし拝め国たみよ
 主の祈り 口語訳(週報4面参照)
 交誦 詩篇121篇1〜8節
 (旧約聖書 1070頁)
 礼拝祈禱
 使徒信条 口語訳(週報4面参照)
 会衆賛美 All in All
 会衆賛美 主はぶどうの木
 聖書朗読 ヘブル人への手紙
 12章1〜11節
 (新約聖書 454頁)
 説教 忍耐をもって走る
 (荻野泰弘牧師)
 会衆賛美 聖歌514 主と主の言葉に
 献金 聖歌376 父御子御霊の
 頌栄
 終禱
 報告
 感謝祈禱 奏楽

【招詞(主の招きのことば)】
 ハバクク書2章20節「主は、その
 聖なる宮におられる。全地よ、主の
 御前に静まれ」アーメン
 【本日の予定】
 ■会堂清掃 礼拝後
 ■こひつじ礼拝 11時〜4階
 ■小学科礼拝 11時〜3階
 ※ホザナ会は一般礼拝に出席
 ■バイブルカフェ
 12時15分〜45分 談話室
 ■役員会
 13時半〜 牧師室

【本日の礼拝奉仕者】
 ■第1礼拝
 礼拝祈禱 司会者
 聖書朗読 司会者
 献金1階 司会者
 献金祈禱 荻野牧師
 報告 荻野牧師
 受付 配信チーム
 配信
 ■第2礼拝
 礼拝祈禱
 聖書朗読
 献金1階 2階 司会者
 献金祈禱 司会者
 報告 荻野牧師
 会場
 受付 パワポチーム
 パワポ
 【次週の説教】
 説教者 田中師
 聖書箇所 詩篇31篇1〜8節

【報告 消息】

・新年聖会(教団主催)報告 13日
 (月・休)蒲田を会場に、講師として
 阿部信夫師をお迎えして行いました。
 説教は証しを交えて具体的に分かり
 やすい内容でした。今もYouTubeで視
 聴できます。聖書箇所と説教題は先週
 の週報に掲載しています。

■聖会Ⅰ 出席者数 62名
 ほかに、同時刻のオン
 ライン視聴件数17件

■聖会Ⅱ 出席者数 48名
 ほかに、同時刻のオン
 ライン視聴件数13件

※「沼津教会週報巻頭言集」配布
 新年聖会会場にて沼津シオンより
 小冊子「みことばに導かれⅡ」が無料
 で配布されました。参加できなかった
 兄弟のために沼津シオンよりにい
 ただきました。どうぞお持ちください。

・各会例会 12日午後に行われまし
 た。それぞれに良き交わりでした。
 ・世界宣教献金 1月17日は阪神・淡
 路大震災から30年の節目でした。こ
 の日を覚えて災害支援団体や被災地
 に支援献金を送金。阪神大震災後に青
 年たちが訪問したインマヌエル神戸
 教会にも献金しました。

【無料食品配布にご協力を】
 有志ボランティアチームは2/1
 (土)に無料食品配布を予定。食品の
 寄付を受付中です。ご協力ください。

【ご案内】

■池上梅園交わり会(合同例会)
 日時 2月9日(日) 13時〜15時
 場所 池上梅園 和室
 会費 500円(65歳以下は別途入
 園料100円必要)

先週、会長会より申込書が配布され
 ました。各会を通じてお申し込みくだ
 さい。締め切りは2月2日(日)

■有志スノーキャンプ 参加者募集
 日程 2月23日(日) 午後出発
 24日(月) 夜帰着

【2025教団標語】

「私のたましいよ
 黙って、ただ神を待ち望め。
 私の望みは神から来るからだ。」
 詩篇 62篇5節
 ※ご自由にお持ちください
 ・教団標語入りカレンダー
 ・蒲田シオン聖書通読表